

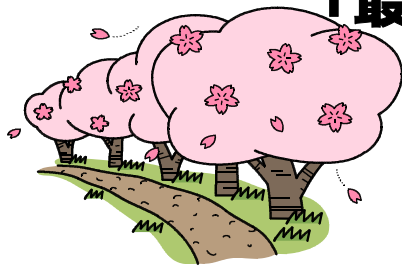


ぽこ・あ・ぽこ

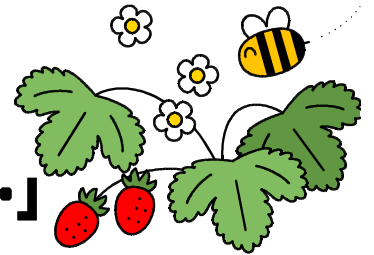
Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第117号 平成23年4月1日 発行

発行者 社会福祉法人 神戸婦人同情会 子供の家
〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3
tel 06-6491-8953 fax 06-6498-3444
支援センター (tel, fax) 06-6491-1811
E-mail (子供の家) info@kodomonon-ie.org
(支援センター) candy@kodomonon-ie.org
URL http://www.kodomonon-ie.org



「最初!!」、そして「最後に…」



施設長 三浦 正

今よりも少し若い頃、大阪・堺市の初任地に行った時の事です。大阪市立大学卒の一年先輩の女性に言われました。隣にはアメリカ人の女性英語講師も立っていて、「三浦さん、”椿”は英語で何と言いますか?」!!

ああこれはテストだな、などと一瞬嫌な気がしましたが答えました、「カメラアと違う?」。そうすると何の悪気も無しに、「あっ当り! ちょっと発音が違うけどね。カメラアだって」。「あのね、カメラアはラテン語です。学名がカメラア・ヤポニカ・リンネやから」。

この最初の小さなテストに合格して以来、二人の女性とは大変に仲良く、楽しく仕事ができる様になりました。何と単純な事でしょう!! 賢人の二人の女性の支えもあり、職場での私の位置は確固としたものになったのです。

四月、新年度です。社会人として最初の一步を踏み出す人々に心から声援を送ります。頑張れよ! 小テスト(試み、試し行動)なんかに負けるなよ!! 新約聖書の使徒書18章にあります、『恐れるな、語り続けよ黙っているな。私(神)があなたと共にいる』。施設の子も、先輩職員も、地域の方々も、新人の人達を色々な方法で試し、知ろうとする事でしょう。どうぞ恐れずに、雄弁に語って、皆の期待に応えられるような立派な職員に育てて下さいます様に!!

そして最後につけ加えさせていただきます。もうじき、当所にも東日本の子供達が避難してくる事になるでしょうから。『恐れるな!(東日本の人々の為に)走り続けよ、休んでいるな。私(神)があなたと共にいる!!』と。

ただひたすらに(心が痛み)泣ける新年度の始まりです。



4月から6名の新しい職員が子供の家に仲間入りしました。紙面ではありますが紹介させていただきます。



板垣 亜侑 (いたがき あゆ)

こんにちは。私の名前は板垣亜侑です。これから子どもたちとたくさん遊んだりお話をして色々な思い出を作っていきたいと思っています。私はバレーボールが得意なのでバレーボールと一緒に出来ればと思っています。これから宜しくお願いします。

下司 右子 (げし ゆうこ)

この4月から調理場で働く事になりました。昔から料理を作って人を喜ばせる事が好きで早く子どもたちに美味しく喜んでもらえる料理が作れるように先輩方にアドバイスをもらいながら頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



島 知里 (しま ちさと)

こんにちは。昨年度まで大阪の施設で3年働いていました。まだまだ未熟ですが、これから子供の家の皆とともに成長していきたいと思っていますので宜しくお願いします。



中山 訓行 (なかやま のりゆき)

関西福祉科学大学を卒業し、子供の家で働かせていただく事になりました中山訓行です。子どもたちや職員の皆さんと一緒に色々な事を経験して共に成長していけたらと思っています。宜しくお願いします。



林田 裕美 (はやしだ ひろみ)

大学時代、プレイセラピーを経験しセラピストと言う形ではなく直接現場でかわりを持ちたいと思い子供の家で働かせていただく事になりました。早く一人前になれるように頑張り、子どもたちに負けないくらいの明るさと元気で前進していきますので宜しくお願いします。



好村 美香 (よしむら みか)

この度、4月から子供の家で働かせていただきます好村美香です。みんなと楽しくやっていけたらいいなと思っています。まだまだ分からないことがたくさんありますが、精一杯頑張っていきたいと思っています。これから宜しくお願いしま



感謝

春は出会いの季節でもあり、別れの季節でもあります。今年度で2名の職員が退職します。

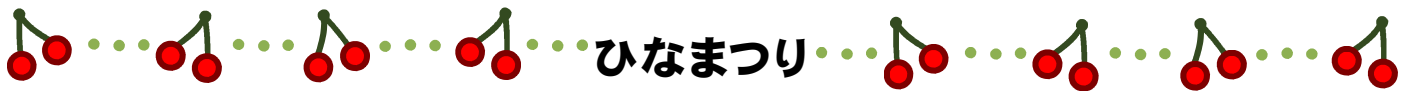
高山静香保育士

子ども達と過ごした3年間、たくさんの思い出ができました。これからは新たな道を進んで行きますが、この経験を糧に頑張りたいと思います。

鶴田ちひろ調理員

子どもたちから「今日のごはんおいしかったで！！また作ってな！！」の声に何度もエネルギーをもらいました。この経験を大切にして新しいスタートをきりたいと思います。





3月3日、日中家にいた幼児たちは折り紙を使ってひな人形を作りました。それぞれの味が出ている可愛いひな人形に出来ました。

おやつはひな祭りケーキを、夕食は可愛いお雛様付きちらし寿司を食べ、御姫たちは大満足の様でした。最後の最後にひな人形の前で写真を撮り、笑顔を見せてくれた御姫たちでした。



おてがみ



3月に退所した18歳の男の子が幼稚園児に贈った手紙についてのエピソードをご紹介します。子供の家の居室配置は高学年棟男子の居室のほぼ隣と言っていい所に幼稚園児が生活している居室があります。朝に始まり、夜に至るまでよく顔を合わせます。次第にお互い顔と名前を覚え、肩車や抱っこをしてもらったりと幼稚園児も甘えるようになり、いつの間にか18歳の男の子の周りにはいつも幼稚園児が集まるようになっていました。

退所が迫った日、可愛いメモ帳持ってへんからと言って、職員からもらったメモ帳一枚一枚に手紙を書いてくれていました。”またあそんであげるからな”等と書かれた手紙は心温まるものでした。



夜、高学年棟の男の子たちが台所に立っていて何をするのか聞いてみると、高校の合格祝いと退所児の送別会をするとの事でした。「うわー焦げたー。」「俺、めっちゃうまいやん。」と言いながら楽しそうに準備をしていました。

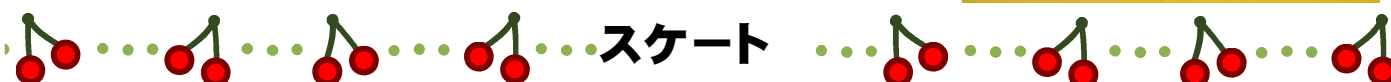
退所児の男の子を囲み、最後の夜を過ごせたことに「ありがとうな。」と後からお礼を言う姿が温かい気持ちにさせてくれました。きっと良い時間を過ごせたのでしょう。



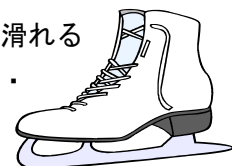
おもちゃ王国の休日



3月25日、今年もおもちゃ王国へご招待していただきました。今回は3歳から6歳までの子どもをメインに参加させていただきました。寒い日ではありましたが、温かいカレーライスを食べながら舞っていただき、乗り物に乗っている間に寒さも吹っ飛んだようでした。生まれて初めてジェットコースターに乗った子どももいました。時間ぎりぎりまで遊ばせていただき大満足でした。おもちゃ等のお土産もいただき、子ども達は大喜びでした。本当にありがとうございました。



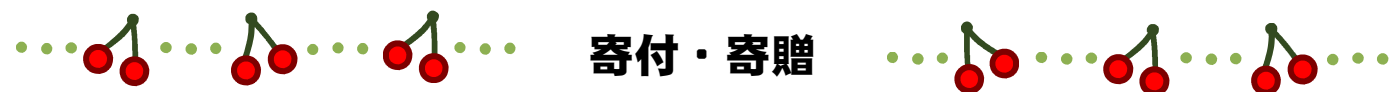
3月27日、幼稚園児を連れて尼崎スポーツの森へスケートに行きました。初めてのスケートという子がほとんどで氷の上に立つと転倒の連続でしたが、最後は上手に滑れるようになっていました。最後まで氷の上をもがくように走っていた子もいたようですが・・・帰寮すると「連れて行ってくれてありがとう。」と皆が口にしてくれたとの事でした。



法人新採用職員研修



3月28日、子供の家ホールにて神戸婦人同情会に採用された新採用職員が一同に集い研修が開催されました。新採用職員研修を行いました。城理事長先生のお話から始まり、講師の先生をお招きしての福祉施設におけるホスピタリティの実践についてのお話等、内容の濃い研修でした。福祉施設職員として現場に立つにあたって、とてもためになるお話を聴かせていただき、身の引きしめる思いになった研修だったとのこと。



- ・南比登志様 ・森眞一朗様 ・中村様 ・山下 百合子様 ・山本淳子様
- ・竹中校務会大阪本店 中澤大器様 ・株式会社大山観光 一番会館 横井康宏様 ・株式会社 あたらし畳様
- ・株式会社クラウンネットワークシステムズ アポロ会館様 ・MissDolce 山本理沙子様
- ・株式会社電通新聞局 地方紙正月連合企画係 満井優様 ・堀尾眼科内科 堀尾俊治様
- ・トヨタL&F兵庫株式会社 斉藤秀司様

★本当にありがとうございます★

編集後記

短い春休みが終われば、新たな環境に飛び込んでいく子どもたちもいます。身の周りの準備・心の準備をして新しいスタートを切れればと思います。今年度も宜しくお願い致します。

